

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成17年6月16日(2005.6.16)

【公開番号】特開2001-160238(P2001-160238A)

【公開日】平成13年6月12日(2001.6.12)

【出願番号】特願平11-343550

【国際特許分類第7版】

G 1 1 B 7/135

G 1 1 B 19/12

【F I】

G 1 1 B 7/135 Z

G 1 1 B 19/12 5 0 1 N

【手続補正書】

【提出日】平成16年9月17日(2004.9.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 5】

図7において、100は、CD用の第1の光源(波長780nmのレーザ光を出力)、200はDVD用の第2の光源(波長650nmのレーザ光を出力)である。第1の光源100から出射した光は、回折格子101を介して第1のビームスプリッタ102(平板タイプ)により反射され、第2のビームスプリッタ103を通過する。この第2のビームスプリッタ103(プリズムタイプ)に対しては、第2の光源200からの光が入射している。第2のビームスプリッタ103は、第2の光源200からの光に対しては、その進行方向を変換し、第1の光源100からの光の進行方向と同じ方向にする。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 8】

CD107の再生時には、第1の光源100からの光が、上述した経路を通り、CD107の情報記録面に照射される。CD107の記録面からの反射光は、対物レンズ106、折り返しミラー105に入射する。ここで折り返された反射光は、コリメートレンズ104、第2のビームスプリッタ103を直進透過し、第1のビームスプリッタ102の透過し、光検出器109に入射する。この光検出器109では、反射光を複数のフォトダイオードで検出し、光学的に読み取られた記録情報を電気的な読み取り信号に変換する。また、トラッキング誤差信号及びフォーカス誤差信号なども生成する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

DVD108の再生時には、第2の光源200からの光が、上述した経路を通り、DVD108の情報記録面に照射される。DVD108の記録面からの反射光は、対物レンズ

106、折り返しミラー105に入射する。ここで折り返された反射光は、コリメートレンズ104、第2のビームスプリッタ103を直進透過し、第1のビームスプリッタ102も透過し、光検出器109に入射する。この光検出器109では、反射光を複数のフォトダイオードで検出し、光学的に読み取られた記録情報を電気的な読み取り信号に変換する。また、トラッキング誤差信号及びフォーカス誤差信号なども生成する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

まずこの発明が適用された光ディスクドライブ装置の構造的外観を説明する。図1において、光ディスクドライブ装置1は、モータシャーシ2に固定され光ディスクDを所定の速度で回転させるスピンドルモータ3と、光ディスクDの図示しない記録面にレーザビーム（光ビーム）を照射するとともに、記録面で反射されたレーザビームを取り出す光ヘッド装置4と、この光ヘッド装置4を光ディスクDの記録面と平行な方向に移動させる駆動機構5を有している。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0028

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0028】

また、上記のコイルへの電流供給方向と大きさにより、レンズホルダ7を軸周りに回転させて、対物レンズ8,9の所定位置の切換えを行うことができる。つまりCD再生時とDVD再生時では対物レンズ8と9の位置を切換える必要があるからである。なおこの切換方法は各種の方法が可能であり、ここに示した方法に限定されるものではない。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

第1の光源11から出射した光は、第1のビームスプリッタ12（平板タイプ）により反射され、第2のビームスプリッタ13を通過する。この第2のビームスプリッタ13（プリズム）に対しては、第2の光源21からの光が入射している。第2のビームスプリッタ13は、第2の光源21からの光に対しては、その進行方向を変換し、第1の光源11からの光の進行方向と同じ方向にする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0038

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0038】

DVDの再生時の光の波長は、例えば650nmである。第1のビームスプリッタ12は、波長選択膜を有し、光源11からの光を反射して進行方向を変換するが、ディスクから反射して戻ってくる反射光は透過させる。また780nmの光も透過させる。